

北海道ミロク会計人会だより

悠久の大地

発行 者：北海道ミロク会計人会（札幌中央区 MJS 支社内）

発行責任者：中 村 泰 道

編集責任者：広報委員会 委員長 秋 元 務



美瑛町：セブンスターの木

主な記事

ご挨拶	2	理事就退任のご挨拶	8
第 49 回定期総会報告	3	しまさばくんグッズのご紹介	8
第 49 回定期総会 苫小牧・室蘭大会の御礼	4	第 48 回全国統一研修会 東京大会のお誘い	9
7 月 12 日の定期総会に参加して	5	きたの泉	10
ウポポイ見学・昼食会に参加して	5	MJS 札幌支社 社員紹介～ 2024 ～	11
委員会報告	6		

表紙写真

今回も「セブンスターの木」を表紙の写真にしてみました。季節は変わって「夏バージョン」です。前号と並べてください、「ほぼ同じ位置」から撮影した「定点観測」です。今夏はオーバーツーリズムの影響で、駐車禁止になってしまいましたので、写真も撮りづらくなったのが残念です。。

札幌地区会 秋元 務



ご挨拶

北海道ミロク会計人会

会 長 中 村 泰 道

第49回の定期総会は、2024年7月12日、苫小牧の地において盛会裡に終えることができました。

関係各位のご協力に心より御礼申し上げます。

さて、私中村は、昨年度より連合会のシステム開発委員会の担当副会長を拝命いたしております。全国の名だたる「ヘビーユーザー」の先生とMJSの開発担当者が一堂に会し、ユーザー側の事細かかつ本質的な要望と開発側の想いや諸事情がぶつかり合っている現場です。それは、我々ユーザーの声が間違いなくMJSに届いていることを私に実感させてくれます。しかし、その一方で、これをもってユーザー側の不満の「ガス抜き」になってしまうだけでは勿体ない、きちんと形になることまで見届けよう、促そうという想いを改めてさせてくれるものでもあります。

皆さまも是非、忌憚のないご意見、ご要望をお寄せくださいませ。

下記①②は、5年ほど前の就任時から、北海道ミロク会計人会における活動方針の大きな2つの柱として掲げさせて頂いているものです。

今後もこの2つの柱を軸に、皆様にとって「入ってよかった」会計人会となるよう努めて参ります。

① 会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親のニーズにお応えすること

会員の皆様から寄せられたご意見・ご要望を参考にして、各種研修会（職員の方の研修も含みます）や情報交換会、意見交換会を開催するほか、最新の情報、重要性の高い情報を、広報紙やWEBページ等を通

して会から皆様に積極的に提供いたします。また、会員同士の懇親をより深めることで、上記の情報交換会等や下記のMJSへの提言等に関する議論も活発化するのではないかと考えております。

これらに加え、北海道会として今後連合会（全国会）を巻き込んで会全体として実現したく考えていることの1つが、MJS独自のシンクタンク等が回答した実務上の質疑応答事例のデータベース化です。早晩に実現できるものではないと思われませんが、こうした皆様にとって有用なサービス構築への働きかけも積極的に行っていきたいと考えております。

さらに近年は会員の増加や収支の向上を目指し、研修の黒字化、オリジナルグッズの開発・販売等も手掛け始めております。

② MJSシステムへの「愛を込めた、どぎつい」提言を行うこと。

会計事務所が質の高いサービスをリーズナブルにお客様に提供するためには、業務の効率性を阻害する使い勝手の悪いシステムを使ってはならないと考えます。

また、かつて効率性をもたらしていたシステムも、昨今の新技術等を生かした機能改善、開発に関する競争の激化を背景に、相対的な利便性が劣る結果となるリスクを常にはらんでいます。

業界大手のMJSシステムにおいてさえもその影響は甚大で、このような荒波を乗り越え、お客様に対するサービスの質の維持・向上を実現するためには、会計人会としては、いわば身内ともいえるMJSに対して、ユーザーとしての会員の忌憚なき声を意見として届けることが重要と考えます。身内だからと遠慮するのではなく、身内だからこそできるどぎつい（だけど愛のある）提言も積極的に行ってまいりたいと考えております。

今後も皆さまのご参加とお力添えを賜いましたら幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

第49回 定期総会報告



総務委員長 町屋 敷 秀 勝

第49回北海道ミロク会計人会の定期総会は令和6年7月12日（金）午後3時より、苫小牧市内グランドホテルニュー王子に於いて開催しました。当日は北海道ミロク会計会の会員37名の出席と税理士会からは北海道税理士会副会長相高周三様、連合会からはミロク会計人会連合会会長植田卓様、MJSからは代表取締役社長是枝周樹様、取締役常務執行役員石川哲士様のご来賓を迎えての総会となりました。

また、当日は定期総会を記念しまして俳優の宇梶剛士氏のお母様であります一般社団法人アイヌカ代表 宇梶静江様によります「アイヌとして生きてきて……そしてこれから」と題する講演と一般社団法人白老アイヌ協会理事長 山丸和幸様によります「アイヌの現状、権利について」の講演が開催されました。

総会はこの記念講演の質疑応答の後に行われました。

久保且佳副会長の開会宣言後、物故会員に対します黙祷を行い、中村会長のご挨拶をいただきました。

苫小牧・室蘭地区会の工藤一康会員が議長となり令和5年度の事業報告と決算の承認、令和6年度の事業計画と予算の承認をいただきました。

その後、次期開催地を旭川地区会に決定して議案

はすべて終了。各地区会からの報告事項を終えて議長の下退任の後にコーヒープレイクとなりました。

再開後は事務局が作成の「しまさぼくングッズ」を紹介した後、ミロク会計人会連合会事務局の田中宏典副部長より11月の全国統一研修会「東京大会」の案内がありました。最後に北海道税理士会副会長の相高周三様、ミロク会計人会連合会会長植田卓様、(株)MJS代表取締役社長是枝周樹様、(株)MJS取締役常務執行役員石川哲士様からご挨拶をいただき定期総会は盛会裡に終了しました。

終了後、記念写真を撮影し、懇親会を開催、竹本浩樹 MJS 道東サービスセンター長が中心となった好例のダンスや、モノマネ頂上決戦に出演した猪俣優也氏の声量感あるメロディーを楽しんだ次第です。

翌日は白老のウポポイの見学と昼食会を楽しみました。

最後になりますが、定期総会が無事成功裡に終えたことは苫小牧・室蘭地区会会員の皆様とMJS札幌支社の皆様のご協力の賜物とこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後北海道ミロク会計人会の活動にご理解いただきご支援賜りますようお願い申し上げます。



▲定期総会の様子



▲記念講演講師の宇梶静江様



▲懇親会の様子

第49回定期総会苫小牧・室蘭大会の御礼



苫小牧・室蘭地区会 会長
柳 沢 邦 則

令和6年7月12日（金）13：30より、苫小牧のグランドホテルニュー王子において、本会の第49回定期総会を開催いたしました。北海道ミロク会計人会の会員37名の出席と、MJS様からは是枝周樹代表取締役社長をはじめとした多数の役員の御来賓、MJS様社員の総勢27名、他に北海道税理士会副会長の相高周三様、ミロク会計人会連合会会長の植田卓様のご出席での総会となりました。沢山の方にお集まりいただき、定期総会を開催できました事、そして、すべての議案にご承認いただき、滞りなく無事に終了出来ました事に感謝申し上げます。

記念講演については、北海道文化賞・アイヌ文化賞等数々の受賞をし、古布絵絵本作家やアイヌ刺繍の創作活動をされている一般社団法人アイヌ力代表理事の宇梶静江様と一般社団法人白老アイヌ協会理事長・一般社団法人アイヌ力理事の山丸

和幸様をお招きし、北海道の先住民族の「アイヌとして生きてきて……そしてこれから」と「アイヌの現状、権利について」を演題にして講演していただきました。講演後の質疑応答も多数あり北海道でのアイヌ文化の環境や扱われ方等について活発な質問があり、改めてアイヌ文化の存在意義と現状を知る事が出来、大変意義深い講演となりました。宇梶様や山丸様に講演を依頼するきっかけはやはり地元の著名人に来ていただく事が地区会として独自性があり、より相応しいとの思いから決めました。懇親会ではMJS札幌支社様の恒例のアトラクションやKWCカラオケ世界大会2015年日本代表の猪俣優也様をお招きし数々の楽曲や歌まねを披露し懇親会場を一層盛り上げていただきました。

実は懇親会のアトラクションには、他に地元のダンス教室のブレイクダンスや高校生デュオ等も候補に入れて検討しましたが、地元苫小牧の出身でカラオケ世界大会出場の猪俣優也様が一番良いと考え、盛況の内に懇親会を終える事が出来ました。これも一重に会場にお集まりの方々やMJS札幌支社の皆様のご協力の賜物と大変感謝しております。



◀▲質疑応答の様子



▲講演に聴き入る会員

◀苫小牧・室蘭地区会会員ご登壇による柳沢地区会長のご挨拶

7月12日の定期総会に参加して



旭川地区会
谷 ゆかり

はじめまして。今年入会させていただきました旭川地区会の谷ゆかりです。よろしくお願い致します。

7月12日に苫小牧で開催されました記念講演会・定期総会・懇親会に初めて参加させていただきました。

記念講演会では宇梶静江さん・山丸和幸さんのとても貴重なお話を聞かせていただき、もっと丁寧に生きていこうと感じさせていただきました。

定期総会では各委員会の活発な報告や計画を聞かせていただき、この会の重要さを改めて実感しました。

懇親会では苫小牧出身の猪俣優也さんのステージがあり、さすがの KWC カラオケ世界大会 2015 日本代表！！ しつとりと聞かせる曲やロックメドレーもあり、まだまだ聴き足りないくらいで、機会があれば猪俣さんのコンサートやショーに行ってみたいと思いました。

とても充実した苫小牧での時間を過ごさせていただき、ありがとうございます。

この場を借りて御礼申し上げます。

▶懇親会を盛り上げる猪俣優也さん



▲懇親会の様子



▲旭川地区会会員ご登壇と増田地区会長による来年の50周年記念大会に向けたご挨拶

ウポポイ見学・昼食会に参加して



苫小牧・室蘭地区会
柳 沢 知 也

第49回定期総会 苫小牧・室蘭地区大会が無事に終了した翌日にウポポイ（民族共生象徴空間）の見学に参加しました。私はウポポイを見学するのは初めてであり非常に楽しみにしておりました。

まず、国立アイヌ民族博物館に行き伝統的な衣装や儀礼品など数々の展示品があり、北海道の先住民族であるアイヌ民族の歴史や文化を様々な角度から学ぶことが出来ました。

次に、数種のアイヌ古式舞踊等を鑑賞し、最後に来場者と共にアイヌの伝統芸能を踊る体験も出来ました。

また、施設内のレストラン「ハルランナ」での昼食会ではアイヌ文化に源流のある食材を現代の

技術を用いた白老牛や鹿肉などの創作料理を美味しく頂きました。

国の貴重な文化でありながら、存立の危機に悩まれているアイヌ文化の復興及び発展のための場所でもあり、見どころが沢山あり大変意義深いと思いました。





委員会報告

総務委員会活動計画

総務委員会の令和6年度の活動計画は次の7項目を掲げています。

- ① 会員増強のための施策を検討し、入会率アップを目指す。
- ② 各地区会活動事業に対し北海道会役員の参加促進を行い情報の共有化を図るためにWEBも活用した研修会・意見交換会を開催する。懇親会などでも会員相互の親睦や地区会会員事務所との情報交換の機会を創る。
- ③ 会則、規程について必要がある場合継続して改正検討を行う。
- ④ 正会員への登録変更や新規会員入会促進のため、新規開業若手事務所所長等を対象にした研修会・意見交換会を研

修委員会及びMJSと協力して開催する。

- ⑤ 「ミロク会計人会の財務基盤強化・株式会社ミロク情報サービスの収益拡大」に資する業務を推進する。
- ⑥ LINE公式アカウントや会報誌を活用し、会員から支援内容について意見収集を行い、フィードバックを行う。
- ⑦ 第48回全国統一研修会東京大会に協力する。

ミロク会計人会をより活性化するための施策を検討して参りたいと思っております。

また、各委員会と連絡協調し、会員増強のための施策を検討し、入会率アップを目指す施策も検討して参りたいと考えています。

委員長 町屋 敷 秀 勝



広報委員会活動計画

7月の第49回定期総会より広報委員長に就任した秋元です。ミロク会計人会を多くの税理士先生方に知っていただき、興味を持って加入していただけるよう広報していきたいと思っております、よろしくお願いいたします。

R6年度の広報委員の活動計画ですが、これまでどおり、まず基本的な以下の3項目を掲げます。

- ①各広報紙面の企画・作成・発行

「悠久の大地」の9月と1月、チャンネル10月号（北海道担当号）

- ②全国統一研修会（R6年東京大会）に関する広報と参加促進
- ③LINE公式アカウントを使った広報活動
加えて、今年度は「北海道ミロク会計人会の50周年」にあたる年です。『50年にたった一度しかない記念すべき年』ですので、なにか会員の皆様の印象に残る広報活動を行いたいと考えております。

委員長 秋 元 務



研修委員会活動計画

昨年度若手税理士の意見交換会である「ポプラの会」を再開しましたが、非常に好評で、若手に限る必要もないのではないかとこの声もあったことから、今年度は「会計事務所経営研究会（仮称）」として事務所経営の疑問、悩みを議論する場として開催したいと考えております。是非皆さまのご参加をお待ちしております。

今年度は、例年通りの税経システム研究所講師による研修会のほか、北海道会独自の企画として連合会研修委員であり、連合会オンラインセミナーでおなじみの田村栄先生にお願いして、資産税をテーマとした研修会を10/23（水）に予定しています。是非ご受講いただければと思います。

委員長 浦 田 敏 仁



情報ネットワーク委員会活動計画

MJS のシステムには、AI-OCR、AI 監査、AI 仕訳など AI という名前のついたシステムが多くリリースされています。事務所の人出不足や業務の効率化のためにも、これらのシステムの活用は必要不可欠であります。しかしながら、まだ会員に対しては、情報を含めて広くその内容が理解されていないと思います。

今年度の委員会は、ミロクシステムのさらなる活用につながる情報提供や、また事務所の DX 化、事務所の業務改善や生産性を上げるための有益な情報を発信していき

たいと考えています

具体的には次の3つをあげています。

- ① AI-OCR など MJS システムを活用した記帳業務の効率化に関する研修会や情報交換会を行う。
- ② 電子帳簿保存法改正後のデータ保管など顧問先や会計事務所業務のデジタル化について研究し情報提供を行う。
- ③ 会計事務所の業務で利用できる RPA に関する応用研究会を開催する。

委員長 久保 且佳



システム開発委員会活動計画

会員の皆さんには常日頃、システム開発の意見・要望アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。本年度、システム開発委員会は次の活動計画を基に1年間進めて参ります。

- ① システム改善に関する意見・要望アンケートを年4回（6月、9月、12月、3月）実施し収集した意見・要望を委員会で検討し MJS へ改善提案を行う。また、システム要望・回答についてまとめて会員にフィードバックを行う。
- ② 会計事務所運営に関する技術やツール（クラウド、WEB 会議、遠隔操作ツール、RPA、電子帳簿保存法対応、各業務システム等）を用いた事務所内の

管理・運営体制の事例についての情報提供を、研修、情報交換会等を通して行う。

- ③ 株式会社ミロク情報サービスと連携し各システム研修会の際に意見交換会や業務システムの説明会を開催し委員会発信の有益な情報を提供しシステム理解度や満足度の向上を行う。

また、注目度の高い AI-OCR 入力も徐々に改良を重ねていますがもう一段ステップアップしていかなければなりません。ユーザーの生産性・効率面の向上に資するものと思われますので多くの改善提案を北海道会から発信し、満足度の高いシステムに作り上げていきましょう。

委員長 小林 勝彦



編集後記

50 周年を迎えた「北海道ミロク会計人会」は、引き算すれば 1974 年に発足したんですね。当時を振り返ってみると、5 月にはセブンイレブンの第 1 号店が江東区豊洲に開店しています。10 月は「巨人軍は永遠に不滅です」の名ゼリフとともに、長嶋茂雄さんが引退しました。芸能界では、森進一さんの襟裳岬が流行り、志村けんさんがザ・ドリフターズに正式加入したのもこの年でした。

あ、4 月には広報委員長が「ピッカピッカの 1 年生」になっていました！（笑）

広報委員会委員長 秋元 務

理事就退任のご挨拶



理事退任のご挨拶

阿 部 幸 蔵

この度の定期総会で広報委員長を退任することとなりました。

平成27年に研修委員長の退任後、二度目の委員長退任です。東京での連合会役員会では全国の状況を知る事が出来、更にたくさんの人にお会い出来、学ぶ事が多かったと思っています。

広報委員長としては短い間でしたが、支えて頂いた方に感謝します。



理事退任のご挨拶

高 橋 俊 光

この度の定期総会で北海道ミロク会計人会の理事を退任することとなりました。わずか2年間の期間でありましたが地区会長も退任することになり、会員の皆様には大変お世話になりました。今後は会員の一人としてご協力したいと思いますので宜しくお願いいたします。



理事就任のご挨拶

内 田 勇 介

この度、帯広地区会会長に選任されました内田勇介と申します。2024年コロナ禍はあけましたが、事業者の倒産件数は増加傾向にあり、このような時こそ会計人として関与先支援に取り組まなければならない、ミロク会計人会としての皆様の研鑽・情報収集・懇親がその一助となるよう努めてまいります。

しまさぽグッズ販売はじめました
しまさぽくん
グッズ



しまさぽ
ブレンドコーヒー



マイルドな味わいで飲みやすい!

しまさぽくんTシャツ
(大人用・こども用)



会員の皆様、
ご家族の皆様にも
大好評です♪



※ご注文は北海道ミロク会計人会事務局までご連絡お願いいたします※



参加される会員には
北海道会から5万円の
補助金がでます！
※先着順
是非ご検討ください♪



第48回全国統一研修会 東京大会が11月14日(木)にホテルニューオータニ東京にて開催されます。
東京会にて掲げたテーマは「歴史に学びつなげよう未来へ!」です。

基調講演と各分科会につきましては、下記のとおりです。

基 調 講 演：「通貨と財政から見た逆説の日本史」作家・歴史家 井沢 元彦 氏

第1分科会：「会計事務所の未来を守る DX 戦略～徹底解説：RPA を活用した業務改善から AI まで～」
ASIMOV ROBOTICS 株式会社 代表取締役 CEO / 公認会計士・税理士
デジタル庁有識者委員 / MBA 藤森 恵子 氏

第2分科会：「企業探検家が語る『中小企業の生き残り戦略と事業承継』」
摂南大学経済学部経済学科 教授

MJS 税経システム研究所・経営システム研究会座長 野長瀬 裕二 氏

第3分科会：「異常気象と災害への備え」気象予報士 天達 武史 氏

今回は災害時対応の他、デジタルトランスフォーメーションの実現に向けて組織全体や業務フローの見直し、働き方改革、マーケットでの自社優位性や生産性向上のための研修を中心に行います。

全国の会員の皆様と交流する機会にもなりますので、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

東京ミロク会計人会事務局よりメッセージ



東京ミロク会計人会事務局担当の倉田・館野です。

大会準備委員会の回数を重ねる度に、様々な歴史や文化を再認識する機会となり、大会当日がどんどん楽しみになっております。

東京都・山梨県・神奈川県・千葉県、それぞれの魅力を感じていただけるよう準備を進めているところでございます。

今大会が未来へつながるきっかけになればと存じますので、この機会にぜひお越しください。

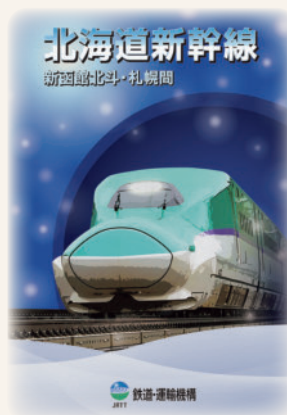


きたの泉

「北海道新幹線」



札幌地区会 山内 弘一

北海道新幹線
パンフレット表紙

平成 28 (2016) 年に青函トンネルを通して新函館北斗駅まで開通しました。

開通当時は、東京―新函館北斗間の最短所要時間は 4 時間 2 分でした。

なんとか 4 時間の壁を切ることができないのかと、マスコミで取り上げられていたことが思い出されます。

その後、平成 30 (2018) 年に青函トンネル内の軌道整備などの改良の結果、トンネル内の走行
時速が 140km から 160km に引き上げられ、現在は 3 時間 57 分に短縮されています。

また、この平成 28 年に新幹線が北海道の函館まで来たことを受け、世界的には「もうすぐニセ
コまで来る」との期待から、海外からのニセコリゾート地区への投資が加速するといった波及効果
まで付いてきました。

因みに、開通後の平成 29 年の路線価は 170 千円 (前年比 177%) で、上昇率全国 1 位でした。

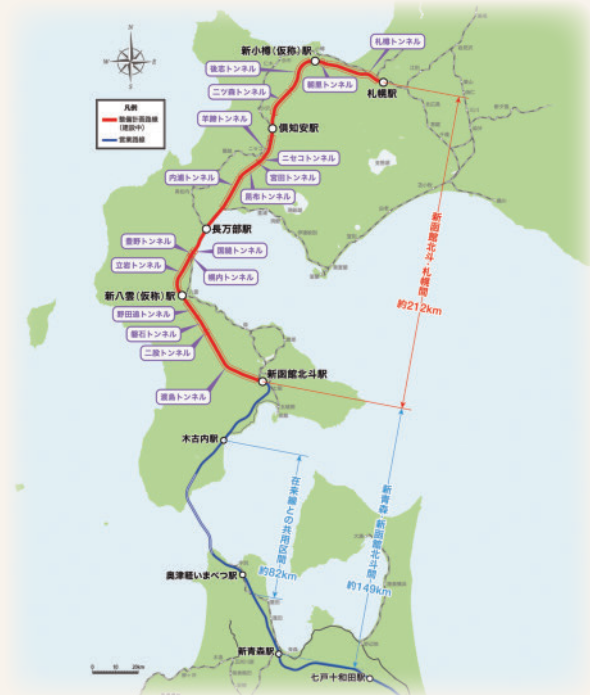
札幌延伸に関しては、当初、令和 17 (2035) 年度開業予定でしたが、札幌市の冬季五輪招致の
関係から令和 12 (2030) 年度開業予定と前倒し
され、事業主体である鉄道・運輸機構によって急
ピッチで進められており、また、用地買収や札幌
駅界限などの移転補償や休業補償等についての関
係者との契約はほぼ完了していると承知しており
ます。

今年に入り、トンネル工事の遅れなどから開業
が数年伸びると報道されております。

この際、冬季五輪招致に関しても白紙に戻って
いることから、安全に工事を進めてもらいたいと
願っています。

また、10 年くらい先のことになると思われま
すが、札幌まで開通となった暁には、札幌～函館
間が 1 時間 13 分、札幌～東京間が 5 時間 1 分
で結ばれるようです。

そのときは、札幌、ニセコはもとより、道内に
広く波及効果をもたらすものと期待しております。



[画像提供：JRTT 鉄道・運輸機構]

MJS札幌支社 社員紹介～2024～



支社長
内山 智晴



営業第一グループ長
小又 賢也



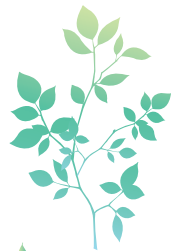
営業第一グループ
中村 愛子



営業第一グループ
河越 龍太郎



営業第一グループ
大谷 広樹



営業第二グループ長
関 貴之



営業第二グループ
佐藤 潔明



営業第二グループ
高橋 優



営業第二グループ
齋藤 南樹



CS 第一グループ
河田 紬子



CS 第一グループ
舩澤 凌



CS 第一グループ
臼井 綾香



道東サービスセンター長
竹本 浩樹



道東 SC 営業
那須 拓也



道東 SC 事務
佐々木 祥乃



CS 第二グループ長
荒井 雅史



CS 第二グループ
久保 慎二



CS 第二グループ
樋口 佳希



CS 第二グループ
西谷 友輝



CS 第二グループ
相田 麻衣



会計会事務局
田中 みどり



会計会事務局・事務
後藤 淑子



事務
榎本 泉

メンバーがたくさん増えました！
今後ともよろしく
お願いいたします♪



オールインワン型コラボレーションツール「morningmate」で
仕事を可視化して、生産性向上と業務改革を実現しましょう!!



morningmateは、業務に必要なコミュニケーションを効率的に行えるように、タスクやスケジュール管理に加え、ファイル共有やリアルタイムチャットなどすべて利用できるオールインワン型コラボレーションツールです。

シンプルな操作性で専門知識は不要! 初期導入費用は一切かかりません。
組織全体のコミュニケーションを活性化させ、生産性向上を実現しましょう。

Morningmateのどのような機能や側面に満足していますか?



<2023年、製品利用ユーザ1,422名を対象に実施したアンケート結果>

「morningmate」利用促進キャンペーン

期間
限定

キャンペーンお申込期間
2024年12月31日(火)
開始分まで

今なら、「morningmate Business+」¥1,200(一人当たり月額)を3カ月間利用料無料(試用期間)でご提供します。
導入開始から効果が発揮できる利用率向上までの期間を、無料で利用できるため、担当者の負担なく導入を始められます。